

「農業と観光に関する検討部会」第4回会議結果

令和6年12月20日（金）16時00分～17時50分
今井地区地域づくりセンター 1階農事研究室

1 出席者

15名

2 懇談事項

- (1) 試験的ツアー（10/30）の考察
- (2) 令和7年本格実施に向けた検討

3 会議結果の概要

- (1) 10月30日開催の試験的ツアーから、昼食（食事）は手の込んだものではなく豚汁と塩むすびなど一見簡素なものが好評であり求められていることを確認、情報共有した。
- (2) 本格実施に向けた価格設定についてシミュレーション表を基に考察し、ターゲット層を確認しながら本格実施に向けた設定金額などを決定した。
＜和7年農業体験ツアー＞
 - ・本格実施は9月、10月、11月（初旬）の内で5回程度、1回最大20名
 - ・5月頃から募集開始予定
 - ・4月から7月にかけて、改めて2回程度の試験的ツアーを実施
- (3) 簡易水洗トイレ（洋式）の設置に向けた補助金の活用を研究していく。

4 その他の発言要旨

- (1) プランの料金設定について
 - ・赤字にならないようある程度の金額設定が必要
 - ・料金が高すぎると売れない可能性もとの考え方もあるが、価値観の多様化が進行しているため売れるかもしれないし売れないかもしれない、しっかりとターゲット層を絞って、例えば「大人の○○」「子どもの○○」などのシリーズ化と対応する付加価値をどう考えるかということ。見せ方、キーワード
- (2) 広告
 - ・募集は5月頃から開始してはどうか、インスタその他に紙ベースのチラシを作成して道の駅など効果的な置き場所を検討する
 - ・売れるワード、キーワードがあるので研究していきましょう
 - ・道の駅は東京・神奈川を中心とした関東圏の客が多数、中京圏も一定程度期待できる
- (3) 催行人数
（最小人数は赤字にならない人数は前提だが）まずは経験値の積み上げも大切であり最少は2名か、逆に最大は20名まで可能ではないか。（同意）

(4) トイレ課題

- ・（事務局から説明）市単独補助を使うと女性認定農業者の「未来事業」が使える。補助率 1/2 で上限 50 万、ただし一回しか使えないので注意が必要。その他、元気づくり支援金の活用も考えられるが、手続きが煩雑で基本的には 3 年間の事業計画を策定したうえで応募することになる。支援率はソフト事業が 3/4、トイレの購入などハード事業は 1/2

その他、地域づくりセンターごとの市単補助があるが、当該補助の活用に向けてまだまだ研究が必要

- ・ 使えそうな補助について検討し、トイレの共同利用なども引き続き研究を進めるということ

(5) ツアーの時期

果樹

- ・ 8 月の農産物はブレやすいので計画的な開催が難しい、9 月から 11 月の初めまでではないか
- ・ 曜日は関係ないと思うが、土日も含めてやってみてはどうか
- ・ ぶどうの出荷日はなるべく避けたい

お米

- ・ 田植えは 5 月中旬から 6 月初旬、稲刈りは 9 月初旬から 10 月初旬
→ 試験的ツアーの対象として実施を検討する

5 今後の予定

- (1) 令和 7 年 2 月～3 月に試験的ツアーの開催に向けた検討部会を開催
- (2) ツアー実施に向けて、農業者、行政、観光、それぞれの立場で検討を継続する